

今週の News

1. 理事、会長、監事の改選/立候補の受付
2. 第4回女性とまちづくり研究会の開催
3. 研究会活動のご紹介
4. JSURP 会議室利用ガイド

■理事、会長、監事の改選/立候補の受付

現在、2022～2023年度の次期理事、会長、及び監事の立候補を受け付けています。

★理事立候補の要件

- ①理事に立候補できる会員は2022年度の正会員のみです。なお、賛助個人会員の場合、2022年度から正会員になる方も対象です。
- ②日本都市計画家協会の財務・運営の一翼を担うという観点から、5月24日時点で会費の滞納がなく、2022年度の正会員費を納入された方であることが、理事立候補の前提となります。
- ③手続きの関係上、2022年度に新たに正会員になる方に関しては、5月17日時点で会費の滞納がなく、2022年度の正会員費を納入された方のみを対象とします。

次期理事、会長、及び監事に立候補される正会員におかれましては、下記リンクに掲載している資料（2022～23年度役員立候補用紙.docx）3頁の様式1欄に氏名、立候補対象を記入の上、捺印し、（認定NPO）日本都市計画家協会事務局宛てにメールもしくはFAXにてご送付ください。

★詳細資料・立候補用紙の掲載先

<https://www.jsurp.jp/2022/05/06/正会員の皆様へ-2022-23年度役員選任のための立候補者募集について/>

★送付先：下記のいずれかをお願い致します。

E-MAIL：jimukyoku@jsurp.jp

FAX：03-6811-7206

★立候補届け出期限

2022年5月24日(火)17時

■第4回女性とまちづくり研究会の開催

第4回の女性とまちづくり研究会では話題提供者を招かず、自由に、相互に話し合う形で進めることにしました。例えば、女性の働き方、都市計画・まちづくりにおける女性の視点等々自由に話し合いたいと思います。

【開催概要】

日時：5月24日(火)20時～21時半

開催方法：オンライン 参加費：無料

申込：<https://forms.gle/jQc1WFhsnzZZ8nvU9>

問合せ：QYA00763@nifty.com（北本 美江子）

■研究会活動のご紹介

JSURPにおける主要な会員活動の一つが「研究会」活動です。「研究会」は協会設立から3年後の1996年2月に「オランダ都市計画研究会」がスタートし現在に至る協会でもっとも長い歴史を持つ活動です。その後、多くの研究会が設立され一定の目的を果たして解散するなどしており、2022年4月現在で8つの研究会が活動中です。

それぞれの研究会の2021年度の活動を紹介します。興味がある方はそれぞれの研究会の代表者に連絡してみてください（問い合わせ先などはJSURP事務局まで）。

1.オランダ都市計画研究会

代表：稲垣道子（正会員）

オランダ都市計画研究会はJSURPの研究会第1号であり、1995年に発足した最も歴史のある研究会です。2021年度は前年度に引き続き年4回のオランダ情報発信及びオランダ研会員からの随時の情報提供を行なったが、新型コロナ禍にあり、活動企画の多くが実施できずに終わった。コロナ収束後は、JSURP事務所での研究会の開催を行いたい。

2.自転車まちづくり研究会

代表：須藤淳司（正会員）

自転車まちづくり研究会は、オランダ研について2004年度に発足した17年の活動歴史を有する。2021年度は、栃木県小山市の「サイクルフェスタ ～はしってみようおやま・のぎ～」の実行委員、浜松市自転車等駐車対策検討会の有識者として、本研究会の代表が参加した。

2022年度は対面会議だけでなく、リモート会議を含めた「運営委員会」や「自転車まちづくりセッション」の開催を検討し、事例の調査・研究や情報共有、政策提言を行っていききたい。

3.首都直下地震・震災復興グランドデザイン研究会

代表：加藤孝明（理事）

当研究会は首都直下地震による震災からの復興のあり方について多方面から検討を行う研究会である。2021年度は震災復興まちづくり支援機構と合同で研究会を計3回、開催し、2050年を見据えた復興のあり方について議論を深めた。

この検討を通して震災復興まちづくり支援機構のメンバーと交流が深まり、震災後の復興支援の人的ネットワークが強化できた。また、この研究結果を2022年7月に震災復興まちづくり支援機構と「公開シンポジウム」を共同主催で開催することを決定し、その準備を行っている。

4.ものづくり・まちづくり研究会

代表：千葉葉子（理事）

都市における生活の場・暮らしの場と生産の場・産業の場との共存のあり方をテーマとして、ものづくり&まち

づくりの現場を歩き、交流・研鑽する研究会です。毎年、どこか特定の場所をターゲットにして多方面から(歴史、産業立地特性、都市環境特性等々)分析を試みます。2015年は東京における「川から見た産業立地」をテーマに石神井川や目黒川沿川での産業立地過程をスタディし、2016年は富山県高岡市で開催された全まちと連動して「産業都市高岡の戦略イノベーションをまちから創発する」、2017年は横浜全まちと連動して鶴見川中流域における「工場街の未来形を考える」、2019年は全国まちづくり会議が開催された江東区及び隣接する墨田区をテーマとして、2020年は大田区及び京浜臨海をテーマとしたフィールドワークでした。2021年度はコロナ禍もありフィールドワークを断念しましたが、2022年度は全まち(墨田区)との連動なども考慮して現地スタディを復活させたいと思います。

5.生産緑地研究会

代表：佐藤啓二(正会員)

生産緑地研究会は都市農業・農地の位置づけが転換されたのに伴い、都市農地の保全・活用上の課題、それを踏まえた望ましい制度改革の方向について検討するため、都市農地活用支援センターと連携しつつ2016年に発足した。研究会での議論を踏まえ、2017年8月に「『農』を活かすまちづくりのための制度改革の提言(案)」を公表しました。2021年度はリモートを活用して生産緑地制度を巡る諸情勢について情報交換を行うと共に、現行の法制度の改正、ポスト2022年を見据えた新しい都市農地制度の在り方について意見交換を行った。

6.まちづくりAI研究会

代表：守 茂昭(理事)

まちづくりAI研究会は2017年設立で、まちづくりにおけるAIの可能性、AIを活用したまちづくりの展開などについて多方面の方々と交えて開催しています。

2021年度は、荻窪音楽祭にて実施された南相馬被災地との交流イベントをハイブリッド方式で、かつ大会場同士で実現する試みに係わり、ハイブリッド型交流の今後を展望する活動を行った。ハイブリッド通信はアフターコロナの時代にあっても存続し続ける技術と考えられるが、ハウリングの危険を常に併せ持ち、安定的な設定方法が模索されている。荻窪と南相馬の交流は貴重な先例となったと考えます。

7.地域デザイン研究会

代表：石川岳男(正会員)

地域デザイン研究会は2019年から活動を開始した新しい研究会です。各地域の特色ある景観づくりの取組について、研究会メンバーによる事例研究や、具体のまちを視察・街歩きを行なっています。2021年度は王子～駒込地域の視察と、事例発表(リモート)で商家佐原のまちづくり、下田市稲生沢地区蓮台寺でのまちづくり活動九州大学と糸島半島のまちづくりのケーススタディを行った。

8.女性とまちづくり研究会

代表：北本 美江子(正会員)

女性とまちづくり研究会は2021年に設立された新しい研究会です。まちづくりにおける女性の課題・特性の活かし方などを議論することを目的として、2ヶ月に1回、レクチャー+意見交換という形式で進めています。

第1回研究会のテーマは「私たちの仕事場について話をしましょう～まちづくりの現場から～」、第2回のテーマは「働き方とまちづくりへの関わり方」、第3回研究会は、「大地の声に耳を澄まし、心を繋いでいく喜び 野の花、風のそよぎ、季節のうつろいの中で、多くの皆さんと心をあわせ、心豊かなまちを創っていく喜び」と題し、東京大学大学院名誉教授石川幹子先生の講演でした。

■JSURP 会議室利用ガイド

JSURPが現在のaxle新お茶の水に移転したのは一昨年5月でした。新型コロナウイルス感染が始まった時期でもあり、新オフィスの活用が困難な時期がほぼ2年間続きましたが、だいぶ状況が好転しているように思われます。協会の総会も3年ぶりにリアル開催となり、会員の皆様もこれを機会に協会会議室を利用した研究会や協会活動を企画されてはいかがでしょうか。

①会議室の利用時間

- ・原則として平日10時～21時30分です。

②申し込みの資格と方法

- ・申し込みが出来るのは当協会の会員のみです。
- ・2日前の午後5時までの申し込みが必要です。
- ・申し込みは協会HPより行ってください。

<https://www.jsurp.jp/カレンダー-会議室利用申込み/>

- ・申し込み後2営業日以内に確認メールを送ります

③利用料等

- ・JSURPの事業関連活動、研究会活動は、室料・コピー料とも無料です。

- ・会員が参加するJSURP以外の団体・組織が利用する場合は有料です。

- ・会議室料は基本料金：500円/30分

- ・コピーは白黒5円/枚、カラー30円/枚

- ・会員個人が利用する場合は、事務所営業時間内(10時～18時)で上記利用の場合を除き可能です。特に申し込み・室料は必要ありません。

④その他の留意事項

- ・事務所の入退室
- ・飲食、ゴミ出し、利用後の清掃、現状復帰
- ・施錠

■5月後半の予定

- ①5月17日(火)協会監査

- ②5月26日(木)第100回理事会

- ③5月27日(金)全まち特別委員会(UDCすみだ)